



第26期

中間事業報告書

2005年1月21日～2005年7月20日

次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート&アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパ

の文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然との共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art



心 Heart

五つのかどわりに
真心こめて、
心がなごむ庭づくり



風 Wind

それは木々や草花を
揺らし、季節を運び、
人と自然を包みます。



光 Bright

それは世界を彩り、
夢を織りなし、
人と自然を照らします。



水 Stream

それは生命を吹き込み、
季節を充たし、
人と自然を潤します。



緑 Green

それは大地に根ざし、
大地を被い、
人と自然を癒します。

株主の皆様へ



代表取締役社長

高岡 伸夫

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございます。
このほど2005年1月21日から2005年7月20日までの「第26期中間事業報告書」がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

経営の基本方針

『家族が庭で健康的な暮らしができる』。そんな幸せなシーンを提供するため、タカショーは3つの基本商品開発テーマとして21世紀の課題である**環境**（3Rのリユース、リサイクル、リデュース）、**グローバル**（製造市場、デザインの立体的構築）、**デザイン**（ブランド、文化型、高価値型）を掲げております。これらの開発テーマを基本とし製造された商品は市場ごとにブランド区分し、様々なライフスタイルを具現化する重要なアイテムとして当社の躍進を支え続けております。

さらに、お客様のニーズ（庭面積、条件、用途）に合わせた現場ごとの別注体制と、欲しいモノを欲しい数だけ欲しい時に欲しい場所へお届けできる物流体制、また今後はITを活用し、インターネットと実際の営業との融合を目指してまいります。メーカーベンダーとして、販売店様と共に高度なビジネススタイルを構築することを基本的な経営方針としております。

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network

海外タカショーグループ

天津高秀国際工貿有限公司	広州オフィス
佛山市南方高秀花園製品有限公司	上海オフィス
広東高秀花園製品有限公司	福州オフィス
上海高秀園芸建材有限公司	台湾オフィス
濠洲里高秀木業有限公司	シドニーオフィス
有限会社タカショー ヨーロッパ	
株式会社タカショー ノースアメリカ	
タカショーコリア有限公司	

海外販売

- アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ ●韓国
- ドイツ ●フランス ●中国 ●台湾

海外提携

- アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ
- ドイツ ●オーストラリア ●台湾 ●スペイン

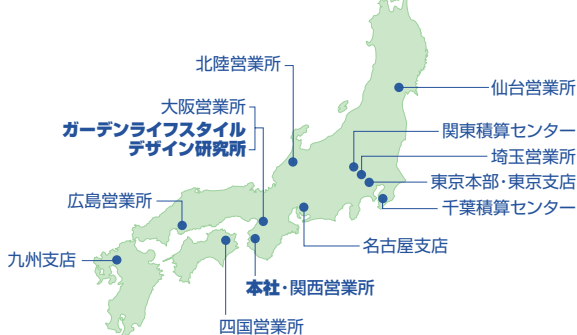


Takasho

本社には国内外からのマーケティング情報を集約すると共に、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグループネットワークを動かしています。

From Kainan

国内タカショーグループ



ガーデンプラン

株式会社青山ガーデン

- ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
- ガーデンの設計施工
- ガーデニングに関するセミナー及び教育
- ガーデン用品に関するオリジナル通販及びギフト販売

生産グループ

和歌山ガーデンクリエイイト株式会社

- アルミ柱加工
- エバーバンパーフェンス製造
- 合成竹組立
- 別注商品製造及び輸入品二次加工
- 商品開発及び改良

奈良ガーデンクリエイイト株式会社

- 天然竹製品加工及び材料管理
- 木製フェンス及び連杭などの塗装加工
- 輸入製品の品質管理

徳島ガーデンクリエイイト株式会社

- エバーバンパーボード真空成型及び組立
- ラティス・ラフィードフェンス加工及び組立
- 押出及び射出成型管理

株式会社タカショーデジテック

- LED（発光ダイオード）照明機器の企画開発
- LED（発光ダイオード）サイン商品の企画開発

デザインプラン

株式会社日本インテグレート

- デザインの開発 ●印刷物の企画、制作

Market

●環境への取り組み

地球環境や人へのやさしさを追求しています。



▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

リサイクル
(繰り返し使える)
Recycle

リデュース
(長持ちする)
Reduce

リユース
(部分的に再利用)
Reuse

▶バイオガーデン

人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。



●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。



中央ロジスティックセンター

●情報サービス

新商品のお知らせや、エクステリア情報を発信しています。



ホームページ



Webカタログ



自動Web積算システム

<http://takasho.jp>

▶プロユース PROガーデンエクステリア分野

緑化などの公共事業、戸建て、商業施設、ハウスメーカー様の企画・設計デザイン、施工部門などプロのお客様をトータルサポートいたします。



総合カタログ



カテゴリーカタログ



庭PRO

▶ホームユース ホームセンター・ガーデンセンター

DIYを基本とした庭づくりもお任せください。ホームユースブランドの「GADIS(ガディス)」はホームセンター向けの弊社ブランドです。



GADIS

▶e-コマース／通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマースはお陰様で、年々知名度を上げております。今後はさらに商品アイテム数を拡充させ、お客様のご要望にお応えしてまいります。



yahoo!



楽天

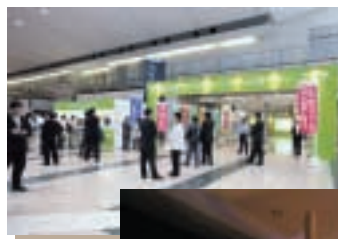
青山ガーデン
AONUMA GARDEN CO., LTD.

TOPICS▶▶▶

■ ～庭をリビングにしよう～ 「タカショーリフォームガーデンフェア」開催

「タカショーリフォームガーデンフェア2005」を7月1日、2日に東京ビックサイトにて約2,500㎡の規模にて開催いたしました。

当社の最大規模のイベントとなる同展示会では、“庭をリビングにしよう”をテーマにいくつかの庭空間を提案し、特に今回一番の人気だったのがLED（発光ダイオード）を光源とした新しいガーデンライトシリーズでした。床や壁にデザインされた新しい光の提案は来場者から多くの支持を集め、好評の内に閉幕いたしました。



■ 愛知万博・長久手日本館の竹ケージ製作で 当社が協力

2005年愛知万博は、21世紀最初の万博として、変化する地球の自然環境に目を向け、人と自然とのかかわりを見直すことをテーマに開催されました。特にそのシンボルである長久手日本館の竹ケージにおいては、竹を今回のような大きな建築物の構造体として採用しようという前代未聞の挑戦に、当社がモックアップ（原寸模型）の製作段階から積極的に協力をしてまいりました。

当社は、竹瓦屋根及びエントランス周辺の竹・木杭の造作を担当。完成した姿からは見えないところで、コネクターや接着剤、表面の処理、加工等に工夫を凝らしており、これらは当社にとって自然素材を生活の中に活用していく新たな試みの場となりました。

今後、当社としてもこれらの技術を商品開発の中で活かしていく考えです。



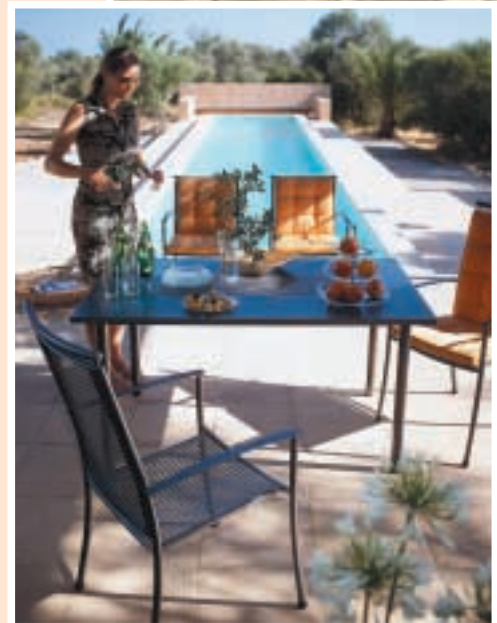


ドイツMWH社のファニチャーブランド「ロイヤルガーデン」と専売契約を結び日本販売開始

この度、当社はドイツのMWH社と日本市場及びアジア市場での販売を目的とした専売契約を結びました。ヨーロッパを代表する同社のブランド「ロイヤルガーデン」は、ヨーロッパの高級ガーデンファニチャーとして多くの人に愛されています。洗練されたデザイン・品質はガーデンの本場においても群を抜くブランドとして知られています。

特徴として、独自のコーティング技術「サーモシントコーティング」により通常の10倍の厚みを持たせたことで、熱伝導を極力遮断し、夏は熱さを冬は冷たさを和らげ、高い耐久性を保ちます。当社が提案する「リビングガーデン」において最も重要なファニチャーカテゴリーをMWH社と取り組むことにより、自宅のお庭からオープンカフェなどの商業施設、公園などの公共施設まで幅広い提案が可能となります。

当社は、海外一流ブランドとの専売を活かし、より良い暮らし・ライフスタイルに合わせた新しい庭の提案を今後も追求してまいります。



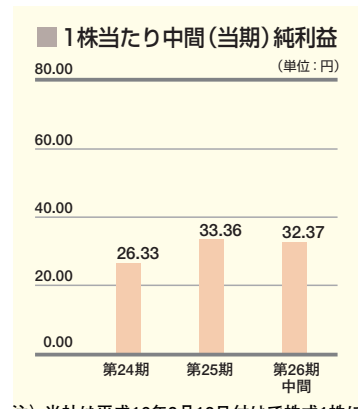
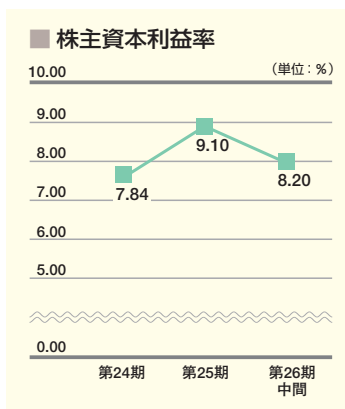
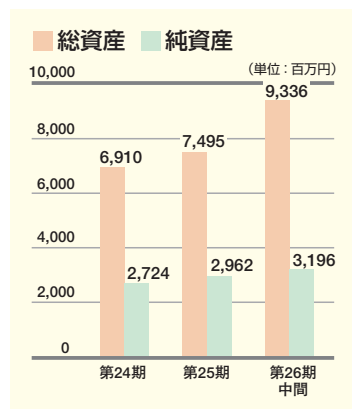
中間連結財務諸表(要約)

貸借対照表

科目	第26期中間	第25期中間	第25期
	平成17年7月20日現在	平成16年7月20日現在	平成17年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	7,324	6,567	5,572
固定資産	2,012	1,780	1,922
有形固定資産	1,454	1,330	1,404
無形固定資産	35	34	32
投資その他の資産	522	415	485
資産合計	9,336	8,347	7,495

(単位：百万円)

科目	第26期中間	第25期中間	第25期
	平成17年7月20日現在	平成16年7月20日現在	平成17年1月20日現在
●負債の部			
流動負債	4,922	4,383	3,376
固定負債	1,192	983	1,137
負債合計	6,114	5,366	4,513
●少数株主持分			
少数株主持分	25	16	18
●資本の部			
資本金	463	463	463
資本剰余金	486	486	486
利益剰余金	2,273	2,046	2,047
その他有価証券評価差額金	5	2	6
自己株式	△ 31	△ 30	△ 31
為替換算調整勘定	△ 2	△ 4	△ 10
資本合計	3,196	2,964	2,962
負債、少数株主持分および資本合計	9,336	8,347	7,495



注) 当社は平成16年9月13日付けで株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該分割が過年度に行われたと仮定して再計算しております。

損益計算書

(単位：百万円)

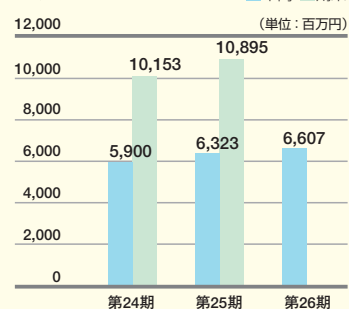
科目	第26期中間 平成17年1月21日から 平成17年7月20日まで	第25期中間 平成16年1月21日から 平成16年7月20日まで
売上高	6,607	6,323
売上原価	3,653	3,607
売上総利益	2,953	2,715
販売費および一般管理費	2,476	2,220
営業利益	476	494
営業外収益	22	19
営業外費用	28	35
経常利益	471	478
特別利益	2	17
特別損失	9	42
税金等調整前中間純利益	464	453
法人税、住民税および事業税	202	227
法人税等調整額	△9	△51
少数株主利益	10	8
中間純利益	261	268

キャッシュ・フロー計算書

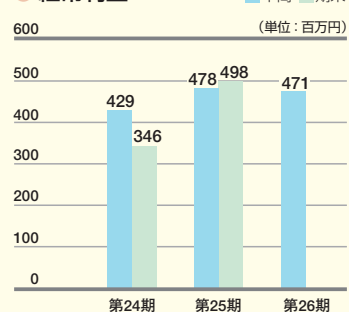
(単位：百万円)

科目	第26期中間 平成17年1月21日から 平成17年7月20日まで	第25期中間 平成16年1月21日から 平成16年7月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208	△266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	390	96
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0
現金及び現金同等物の減少額	3	216
現金及び現金同等物の期首残高	1,232	1,230
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,228	1,013

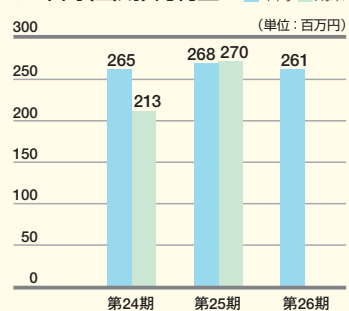
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



中間個別財務諸表(要約)

貸借対照表

科 目	第26期中間	第25期中間	第25期
	平成17年7月20日現在	平成16年7月20日現在	平成17年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	6,370	5,895	4,749
固定資産	1,968	1,636	1,801
有形固定資産	1,122	983	1,069
無形固定資産	25	24	22
投資その他の資産	820	628	709
資産合計	8,339	7,531	6,551

(単位：百万円)

科 目	第26期中間	第25期中間	第25期
	平成17年7月20日現在	平成16年7月20日現在	平成17年1月20日現在
●負債の部			
流動負債	4,642	4,197	3,062
固定負債	1,174	943	1,110
負債合計	5,816	5,140	4,172
●資本の部			
資本金	463	463	463
資本剰余金	486	486	486
利益剰余金	1,597	1,468	1,453
其他有価証券評価差額金	5	2	6
自己株式	△31	△30	△31
資本合計	2,522	2,390	2,378
負債および資本合計	8,339	7,531	6,551

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第26期中間	第25期中間
	平成17年1月21日から 平成17年7月20日まで	平成16年1月21日から 平成16年7月20日まで
売上高	6,210	6,014
売上原価	3,723	3,696
売上総利益	2,486	2,318
販売費および一般管理費	2,198	1,994
営業利益	288	324
営業外収益	30	20
営業外費用	27	34
経常利益	292	310
特別利益	2	15
特別損失	3	41
税引前中間純利益	291	284
法人税、住民税および事業税	125	175
法人税等調整額	△10	△52
中間純利益	176	161
前期繰越利益	758	644
中間未処分利益	935	806

会社の概要／株式の状況 (平成17年7月20日現在)

会社の概要

商号 株式会社タカショー
TAKASHO CO.,LTD.
本社 和歌山県海南市阪井489番地
設立 昭和55年8月
資本金 463,960,704円
従業員 324名

主要な事業内容

- ◆ ガーデニングフェンス
(人工竹木フェンス関連商品・天然竹木フェンス関連商品)
- ◆ 庭園資材(緑化資材・ガーデンファニチャー・人工植物関連商品)
- ◆ 照明機器(ガーデンライト商品)
- ◆ 池・滝・噴水
- ◆ その他(坪庭・プライベートブランド商品等)

主要な事業所

本社	和歌山県海南市	福州事務所	中国 福州市
東京支店	東京都千代田区	上海事務所	中国 上海市
名古屋支店	愛知県東海市	広州事務所	中国 広州市
九州支店	福岡県筑後市	台湾事務所	台湾 高雄市
仙台営業所	宮城県仙台市	オーストラリア 事務所	オーストラリアシドニー
埼玉営業所	埼玉県坂戸市	ガーデンライフ スタイル デザイン研究所	大阪府大阪市
北陸営業所	石川県石川郡		
関西営業所	和歌山県海南市		
大阪営業所	大阪府大阪市		
広島営業所	広島県東広島市		
四国営業所	徳島県吉野川市		
関東積算センター	群馬県前橋市		
千葉積算センター	千葉県君津市		

役員

代表取締役社長	高岡 伸 夫	取締役	岡室 宏 之
常務取締役	平松 昇	監査役(常勤)	増川 昭 夫
取締役	高岡 淳 子	監査役	足立 昌 彦
取締役	丸山野 行 信	監査役	宮尾 文 也
取締役	寒川 浩		

株式の状況

会社が発行する株式の総数……………26,000,000株
発行済株式の総数……………8,279,814株
当中間期末株主数……………2,464名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
高岡伸夫	2,930 千株	35.39 %
タカショー社員持株会	404	4.88
ピーエヌパーリパセキリティーズ サービスパリスジャスデックフランス	232	2.81
岡室宏之	203	2.45
高岡マサエ	176	2.12
株式会社 UFJ銀行	166	2.00
小倉貿易株式会社	160	1.93
竹田和平	160	1.93
新神戸電機株式会社	158	1.91
浅川文明	150	1.81

※注 当社は自己株式188,264株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度 1月21日から翌年1月20日
決算期 1月20日
配当金 1月20日現在の株主、中間配当実施の場合は7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。
定時株主総会 毎年4月
公告掲載新聞 日本経済新聞
名義書換代理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 〒183-8701
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他ご照会) ☎0120-176-417
同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>



特典
1

タカショーオリジナルカレンダー
プレゼント

ガーデニング
に関する
お役立ち情報をお届けします。



特典
2

ご所有株数1,000株以上で
自社商品をプレゼント



特典
4

タカショー庭通信
プレゼント



特典
3

自社カタログ掲載商品を
割引販売

特典
5

ご所有株数100株以上
1,000株未満で種苗プレゼント



特典
6

年に一度タカショーイベントにご招待!
● 但し、交通費は実費となりますので、ご了承ください。

 Takasho

株主優待のお知らせ

当社は株主優待制度として、庭のお好きな方や、これから庭を楽しみたい方にさらにご満足いただける「タカショーガーデン友の会」を発足いたしました。目的は、当社を通じ豊かな時代を創るオーナーとして、21世紀の環境づくりに参加していただき、なお且つガーデニング人口を増やしていこうという考えも入っております。今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 特典2、5、6については、毎年1月20日の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主様のみとなります。

株式会社 タカショー

本社 和歌山県海南市阪井489番地 〒642-0024

TEL 073-487-0165 (代表) FAX 073-487-2313 ホームページ <http://takasho.jp>

 
古紙配合率100%再生紙